



平成24年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月3日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社サーラコーポレーション

コード番号 2734 URL <http://www.sala.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 神野吾郎

問合せ先責任者 (役職名) 広報・ブランドグループマネージャー

(氏名) 奥田健

TEL 0532-51-1184

四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第3四半期の連結業績(平成23年12月1日～平成24年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第3四半期	102,285	3.9	1,645	105.5	1,891	125.6	873	25.3
23年11月期第3四半期	98,430	5.5	800	7.8	838	12.6	697	347.2

(注) 包括利益 24年11月期第3四半期 924百万円 (28.3%) 23年11月期第3四半期 720百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第3四半期	22.71	—
23年11月期第3四半期	18.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年11月期第3四半期	95,473	27,044	27.2
23年11月期	98,006	26,641	26.0

(参考) 自己資本 24年11月期第3四半期 25,967百万円 23年11月期 25,462百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年11月期	—	5.00	—	—	—
24年11月期(予想)	—	—	—	6.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年11月期の連結業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	6.8	1,800	99.5	1,800	64.5	650	20.0	16.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年11月期3Q	40,338,708 株	23年11月期	40,338,708 株
② 期末自己株式数	24年11月期3Q	1,893,404 株	23年11月期	1,888,985 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年11月期3Q	38,447,551 株	23年11月期3Q	38,451,630 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中でありませ

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、当初震災の復興需要により一部で持ち直しの動きが見られたものの、欧州の債務問題に起因する世界経済の下振れや長期化する円高の影響を受け、輸出関連産業を中心に業績が伸び悩むなど、後半は減速局面で推移しました。

このような状況のなか、当社グループにおいては主力のLPガスの販売量が回復し輸入車販売も順調に推移するなど、全体としては所定の成果を見込める状況となっています。

当第3四半期の主な取り組みとしては、エネルギーサプライ&ソリューション事業のガステックサービス株式会社では、地域ごとに異なるお客さまのご要望にきめ細かくお応えするため、7月に従来の事業部制を6支社からなる支社制に改める組織変更を実施しました。

カーライフサポート事業のサーラカーズジャパン株式会社では、ブランドイメージと集客力の向上を図るため、4月の「アウディ浜松」に続き7月には「フォルクスワーゲン岡崎」のショールームを全面改装しました。また、静岡エリアにおける販売網の強化を目的に、10月開店を目指し「フォルクスワーゲン富士」の建設を進めています。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、エネルギーサプライ&ソリューション事業の工業用を中心としたLPガス販売量の増加、エンジニアリング&メンテナンス事業における昨年7月に子会社化した株式会社鈴木組の売上への寄与、カーライフサポート事業において輸入車販売台数が伸びたことなどにより、売上高は前年同期比3.9%増の102,285百万円、売上総利益は前年同期比3.1%増の22,760百万円となりました。販売費及び一般管理費は前年同期比0.8%減の21,114百万円となり、営業利益は前年同期比105.5%増の1,645百万円となりました。経常利益は持分法による投資利益の増加なども加わり、前年同期比125.6%増の1,891百万円、四半期純利益は前年同期比25.3%増の873百万円となりました。

セグメント別の概況は次のとおりです。

エネルギーサプライ&ソリューション事業

売上高48,862百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益1,943百万円（前年同期比31.4%増）

主力のLPガス販売部門では、家庭用の販売量は減少しましたが、工業用は製造業の生産回復に伴う需要増などにより販売量が伸び、全体の売上高は増加しました。利益面では、減価償却費の減少や修繕費などにおける経費削減の効果があり、営業利益は増加しました。

エンジニアリング&メンテナンス事業

売上高21,993百万円（前年同期比14.0%増）、営業損失18百万円（前年同期は営業損失387百万円）

厳しい受注環境が続くなか、静岡県西部エリアの基盤強化のため昨年7月に子会社化した株式会社鈴木組の売上が寄与し、土木・建築部門を中心に売上高は増加しました。利益面では、営業の強化とともにコスト管理による利益率改善の取り組みを全社的に展開した結果、営業損失は縮小しました。

カーライフサポート事業

売上高10,355百万円（前年同期比9.8%増）、営業利益456百万円（前年同期比6.3%増）

新車販売部門では、先進の技術を搭載する商品力の高さを訴求するとともに、既存オーナーを中心にきめ細かな営業活動を展開しました。4月から受付が始まったエコカー補助金なども追い風となり新車販売台数が伸び、全体の売上高は増加しました。利益面では好調な新車販売に加え、アフターセールスにおける業務改善により効率化が進み、営業利益は増加しました。

アニマルヘルスケア事業

売上高15,769百万円（前年同期比4.6%減）、営業利益31百万円（前年同期比83.1%減）

畜産部門では、畜産物市況悪化の影響により畜産向け医薬品の売上高が減少しました。ペット関連部門では、提案型営業の強化によりペット向け医薬品の売上は増加しましたが、ペットフードの売上が伸び悩み、全体の売上高は減少しました。利益面では、在庫管理など利益率向上に取り組みましたが、支払手数料の増加などにより、営業利益は減少しました。

ホスピタリティ事業

売上高1,678百万円（前年同期比1.0%減）、営業損失344百万円（前年同期は営業損失425百万円）

宿泊やレストラン、宴会部門では計画的な販促活動により売上は増加しましたが、ブライダル部門の挙式組数は計画を下回り、全体の売上高は減少しました。利益面では、運営体制の見直しと徹底したコスト管理による経費削減の効果もあり、営業損失は縮小しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

(資産)

資産は95,473百万円と、前連結会計年度末と比較して2,533百万円減少しました。これは主に、「受取手形及び売掛金」が2,138百万円減少したこと、「有形固定資産」が減価償却などにより1,297百万円減少したこと、「流動資産のその他」が820百万円減少したこと、「無形固定資産」が減価償却などにより427百万円減少したことに対し、「仕掛品」が1,138百万円増加したこと、「現金及び預金」が1,062百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債は68,428百万円と、前連結会計年度末と比較して2,936百万円減少しました。これは主に、「短期借入金」が1,780百万円減少したこと、「流動負債のその他」が1,111百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は27,044百万円と、前連結会計年度末と比較して403百万円増加しました。これは主に、「利益剰余金」が、四半期純利益の計上により873百万円増加し、配当の実施により385百万円減少したこと、「少数株主持分」が101百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月期連結通期の業績予想につきましては、平成24年1月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

（法人税率の変更等による影響）

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以降に開始する連結会計年度より法人税率の引き下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、従来の39.6%から、平成24年12月1日に開始する連結会計年度から平成26年12月1日に開始する連結会計年度までに解消が見込まれる一時差異については37.0%に、平成27年12月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については34.7%に変更されます。

この税率変更により、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）は232百万円減少し、法人税等調整額は240百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,312	8,374
受取手形及び売掛金	19,142	17,003
商品及び製品	4,065	3,887
仕掛品	2,931	4,070
原材料及び貯蔵品	179	192
繰延税金資産	855	808
その他	3,831	3,010
貸倒引当金	△412	△282
流動資産合計	37,904	37,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,368	17,684
機械装置及び運搬具（純額）	2,294	2,130
導管（純額）	2,237	2,029
土地	22,602	22,534
建設仮勘定	21	73
その他（純額）	3,105	2,880
有形固定資産合計	48,629	47,332
無形固定資産		
のれん	695	475
その他	2,257	2,049
無形固定資産合計	2,952	2,524
投資その他の資産		
投資有価証券	3,544	3,675
長期貸付金	432	489
繰延税金資産	2,339	2,189
その他	2,510	2,567
貸倒引当金	△305	△371
投資その他の資産合計	8,520	8,550
固定資産合計	60,102	58,407
資産合計	98,006	95,473

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,832	15,103
短期借入金	17,150	15,370
1年内返済予定の長期借入金	5,020	7,318
未払法人税等	345	409
賞与引当金	1,303	1,547
役員賞与引当金	8	6
完成工事補償引当金	18	15
工事損失引当金	196	101
ポイント引当金	98	103
その他	7,500	6,389
流動負債合計	46,474	46,364
固定負債		
長期借入金	14,959	12,048
繰延税金負債	181	137
退職給付引当金	5,881	6,119
役員退職慰労引当金	481	495
修繕引当金	24	28
その他	3,363	3,235
固定負債合計	24,891	22,064
負債合計	71,365	68,428
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,025	8,025
資本剰余金	9,019	9,019
利益剰余金	9,229	9,716
自己株式	△951	△953
株主資本合計	25,322	25,807
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	140	159
その他の包括利益累計額合計	140	159
少数株主持分	1,178	1,077
純資産合計	26,641	27,044
負債純資産合計	98,006	95,473

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)
売上高	98,430	102,285
売上原価	76,343	79,525
売上総利益	22,086	22,760
販売費及び一般管理費	21,286	21,114
営業利益	800	1,645
営業外収益		
受取利息	15	13
受取配当金	38	30
負ののれん償却額	1	1
持分法による投資利益	85	176
その他	278	340
営業外収益合計	418	562
営業外費用		
支払利息	331	293
その他	48	22
営業外費用合計	380	316
経常利益	838	1,891
特別利益		
固定資産売却益	64	65
投資有価証券売却益	—	0
貸倒引当金戻入額	32	—
退職給付制度終了益	31	—
補助金収入	314	—
事業譲渡益	22	—
受取損害賠償金	35	—
負ののれん発生益	—	40
特別利益合計	500	105
特別損失		
固定資産除売却損	30	59
投資有価証券評価損	56	3
減損損失	11	37
退職給付費用	306	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	33	—
特別損失合計	439	100
税金等調整前四半期純利益	899	1,896
法人税、住民税及び事業税	533	828
法人税等調整額	△335	163
法人税等合計	198	992
少数株主損益調整前四半期純利益	701	904
少数株主利益	4	30
四半期純利益	697	873

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	701	904
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	19
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△0
その他の包括利益合計	19	19
四半期包括利益	720	924
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	716	892
少数株主に係る四半期包括利益	3	31

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年12月1日至平成23年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エネルギー サプライ& ソリューション事業	エンジニア リング&メ ンテナンス 事業	カーライフ サポート事 業	アニマルヘ ルスケア事 業	ホスピタリ ティ事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	48,126	19,286	9,428	16,526	1,695	95,064	3,366	98,430	—	98,430
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,079	906	52	5	19	2,064	634	2,699	△2,699	—
計	49,206	20,193	9,481	16,532	1,715	97,129	4,000	101,129	△2,699	98,430
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	1,479	△387	429	187	△425	1,283	△29	1,254	△453	800

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車部品製造、割賦販売及びリース等を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△453百万円には、セグメント間取引消去208百万円、全社費用△661百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エンジニアリング&メンテナンス」セグメントにおいて、閉鎖を決定したコンクリートプラントの事業用資産グループについて、固定資産の帳簿価額を減損損失として、特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては11百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エネルギー サプライ& ソリューション 事業	エンジニア リング&メ ンテナンス 事業	カーライフ サポート事 業	アニマルヘ ルスケア事 業	ホスピタリ ティ事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	48,862	21,993	10,355	15,769	1,678	98,659	3,626	102,285	—	102,285
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,191	970	82	3	20	2,270	713	2,983	△2,983	—
計	50,054	22,964	10,438	15,773	1,699	100,929	4,339	105,269	△2,983	102,285
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	1,943	△18	456	31	△344	2,069	107	2,176	△531	1,645

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車部品製造、割賦販売及びリース等を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△531百万円には、セグメント間取引消去145百万円、全社費用△676百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エネルギーサプライ&ソリューション」セグメントにおいて、今後利用計画のない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として、特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては37百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「エネルギーサプライ&ソリューション」セグメントにおいて、40百万円の負ののれん発生益を計上しております。これは、連結子会社である㈱日興の株式を追加取得したことによるものです。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。